令和元年度自治体SDGｓモデル事業⑨

鹿児島県大崎町

大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル

大崎システムを起点とした世界の人口一万人地域で応用可能な循環型地域経営モデルの確立に向けて、手間がかかるリサイクル、産業の担い手不足、多文化共生社会への対応等の課題解決アプローチとして国際化、地域内外連携、人材育成を図る。そのための統合的取組として多様性のある人材を集めてSDGｓ版総合戦略策定等の事業をおこなう。

＜取組課題＞
リサイクルビジネスの更なる国際展開

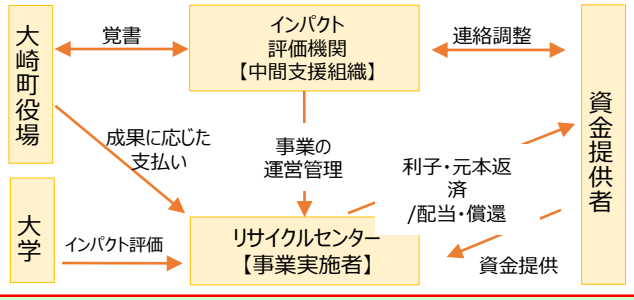
＜取組課題＞
教育、多文化共生社会の実現

三側面をつなぐ統合的取組

大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル

①SDGｓ版大崎町総合戦略の策定
②廃棄物分野ソーシャルインパクトボンド調査事業
③「国際しごと・人材育成センター（仮）」設立支援事業

成果連動型大崎システム（仮）



経済

- 人材育成
- 女性活躍
- 多文化共生

- 地域に人の流れを呼び込む人材育成・研修事業
- 女性の社会進出をサポートする小商い起業支援事業
- 多文化共生社会のしごと推進事業

社会

- 教育
- 男性育児
- 多文化共生
- インパクト評価
- 国際展開

- 公教育を補完する子どもキャリアサポート
- 男性育児参加応援モデル事業
- 多文化共生センター、多文化共生住宅整備
- ウェルネス向上事業と社会インパクト評価調査
- リサイクル起点で世界とつながるグローバル教育事業
- 海外研修生・実習生対象の日本語学校設立支援事業

SDGｓ版総合戦略策定の様子

・「世界標準、大崎」をコンセプトに，女性・若者・外国人等の多様性のある住民の参加
・SDGｓの目標年次2030年に町の中心的な役割を担う４０歳以下の住民参画によるSDGｓの推進普及

環境

- リサイクル
- 国際連携

- ゴミ集積所デザイン事業
- 「もっと楽に」「もっと世界とつながる」リサイクル機材開発事業
- 使用済み紙おむつの再資源化事業の社会的インパクト調査
- リサイクルでつながるインドネシアとの自治体連携モデル事業

＜取組課題＞
リサイクル、ゼロウェイスト、エネルギーの地産地消

インドネシアとの連携